



## 指もんから、その人のおよその年れいがわかるの

### 指もんの形は、一生変わらない

手の指などにある指もんは、何かをにぎったり、つかんだりするときの、すべり止めの役目をしているといわれたりしています。指もんの形には、波状のものやうず状のものなどがありますが、それぞれの指の指もんの形は、生きている間、一生変わりません。

また、指もんのみぞの深さやはば、それぞれの指の指もんの形のならび方は、人によってすべてちがうため、個人を、本当にその人であると判断するのに利用されます。

指もんの形は、親から子へと遺伝することが多く、親と同じ形の指もんを、多くもった子どもが生まれたりします。

指もんのみぞの深さやはばは、おとなになると大きくなります。しかし、おとなになると、体の成長が止まることや、指もんの形は一生変わらないことから、指もんから、おとなか子どもかの区別はついても、およその年れいがわかることはありません。

### 足の裏の指もん

手の指だけでなく、足の裏にも指もんはあります。

足の裏の指もんは、歩いたり走ったりするときに、すべらないようにする役目をしているとも、いわれたりしています。(監修・保志 宏)

